明日の京都
文化遺産プラットフォーム

第6回フォーラム
羅城門
～未来への遺産を考える～

基調講演

「幻の羅城門とその復元」

村井 康彦
（国際日本文化研究センター名誉教授）

経過報告

「羅城門模型移設展示に至る経緯と今後の課題」

土岐 憲三
（立命館大学教授）

パネルトーク

「未来への遺産を考える」

パネリスト　宮田 亮平（文化庁長官）
門川 大作（京都市長）
松浦 晃一郎（前ユネスコ事務局長）

コーディネーター　山本 壮太
（古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー）

半 能

羅生門

出演
金剛龍謹 他
（金剛流若宗家）

羅生門

写真：京都市歴史資料館所蔵

平成28年 12/21（水）
14:00～17:00（開場13:30）
立命館大学 朱雀キャンパスホール

定員450名／入場料無料 **事前申込**
※応募者多数の場合は抽選

主　催　明日の京都 文化遺産プラットフォーム
後　援　文化庁・京都府・京都市・宇治市
京都文化交流コンベンションビューロー
京都新聞・京都仏教会・京都府神社庁

申込は裏面へ

第6回フォーラム

羅城門

～未来への遺産を考える～

この11月21日、平安京の羅城門十分の一模型が京都駅前に設置、披露されます。

京都駅から入洛した多くの国内外の観光客にとって、かつての王城の地京都のシンボルとして、新たな名所となることが期待されます。

「明日の京都文化遺産プラットフォーム」は、私たちが先人から引き継いだ京の文化遺産の保護と共に、未来に向けた新たな文化遺産の創造を目標としています。今回の羅城門の十分の一模型の設置は、本物の羅城門復活の一里塚であり、本フォーラムでは、平安京の入り口にその威容を誇った羅城門の在りし日の姿を想起し、半世紀後、一世紀後の京都の文化遺産のあるべき姿について課題と抱負を語り合います。

登壇者紹介（敬称略）

基調講演

村井 康彦
国際日本文化研究センター
名誉教授

経過報告

土岐 憲三
立命館大学 教授

半能　羅生門

金剛 龍謹
能楽金剛流若宗家
公益財団法人
金剛能楽堂財団 理事

パネルトーク

パネリスト

宮田 亮平
文化庁長官

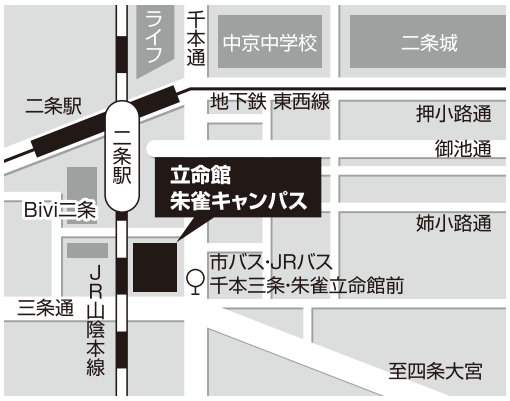
門川 大作
京都市長

松浦 晃一郎
前ユネスコ事務局長

コーディネーター

山本 壮太
古典の日推進委員会
ゼネラルプロデューサー

会場アクセス



■立命館大学　朱雀キャンパス

- ●JR・地下鉄東西線二条駅、下車すぐ
- ●京都市バス・JRバス「千本三条・朱雀立命館前」下車
- ●阪急電車大宮駅、徒歩約10分

※駐車場、駐輪場がありませんので、自動車・バイク・自転車での来場はできません。公共交通機関を利用して、ご来場ください。

入場料　無料（自由席）

募集定員　450名　※応募多数の場合は抽選

応募締切　12月11日（日）必着

応募方法　HPの申し込みフォーム、またはFAX、ハガキでお申込みください。
当選者の発表は参加証（ハガキ）の発送をもって代えさせて頂きます。
（落選された方へのご連絡はしておりませんので、ご了承ください。）
複数名でお申込みの方は、代表者の方への参加証発送となります。
参加証は12月13日(火)発送予定です。

HPから簡単にお申し込みができます。　HP http://tomorrows-kyoto.jp　明日の京都文化　検索

参加お申し込み

羅城門～未来への遺産を考える～　FAX応募用紙　FAX 075-813-8167　12月11日(日)必着

フリガナ
代表者名

ご住所　〒

TEL／携帯　　FAX

E-mail　　@

参加者氏名（代表者以外）※参加証は代表者の方へお送りします

フリガナ
○氏名

フリガナ
○氏名

参加人数　計　　名

※応募時にご記入を頂いた個人情報は、本フォーラムに関するご連絡、主催する団体の事業のご案内や各種連絡の目的のみ使用いたします。